

# 第11回（令和元年度）「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式 「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウム開催概要

## 1 日時

令和2年2月11日（火・祝）

■「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式 午後1時～2時

■「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウム 午後2時15分～4時30分

## 2 場所

国立京都国際会館 メインホール

## 3 内容

### （1）「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）、メアリー・ロビンソン氏（元アイルランド共和国大統領／元国際連合人権高等弁務官）を第11回殿堂入り者として顕彰し、認定証及び記念品を授与しました。また、当日御出席いただいた殿堂入り者から受賞あいさつを頂きました。



認定証の授与



表彰式 会長挨拶

### （2）国際シンポジウム

「未来につなげる－気候変動と地球の現在（いま）－」をテーマにシンポジウムを開催しました。

#### ア 記念講演

#### 【ホーセン・リー 氏】



パリ協定以降に発表した3つの報告書を紹介。被害を最小限に抑えるためにも1.5度未満に平均気温の上昇を抑えることが大切。それには、エネルギーや土地利用、建物、輸送、産業システム等、様々な分野での変革が必要。だが、各国の対策は遅れている。気候変動への対策は遅れば遅れるほど代償が大きくなるため

迅速な対応が求められる。引き続き、IPCC は最新の科学的知見を発信し、気候変動対策への理解と行動のギャップを埋めていきたい。

### 【メアリー・ロビンソン氏】※ビデオメッセージ



気候変動の危機はあまりにも深刻で、私たちの生存そのものが脅かされている。そして、最も大きな代償を払うのは、不公平なことに、世界で最も貧しい人々、つまり気候変動に対して最も責任がない人々である。気候災害による最悪の結果を回避するためにも、行政、企業、若い世代等、みんなが力を合わせ、そして行動していかなければいけない。

### イ パネルディスカッション

今年度は、殿堂入り者のメアリー・ロビンソン氏が提唱する「気候正義（クライメート・ジャスティス）」や「気候変動」をテーマに実施。環境や気候変動の専門家だけでなく、府内の高校生や企業関係者も交え、様々な視点から未来の地球環境の保全についてディスカッションを行いました。



#### 〔パネリスト〕

田邊 清人 氏

【IPCC 国別温室効果ガスインベントリタスクフォース共同議長】

江守 正多 氏

【国立環境研究所 地球環境研究センター 副センター長】

川上 敏弘 氏

【日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）共同代表／株式会社 LIXIL EHS 推進部長】

京都府内高校生 3 名

【山崎愛美子さん（西京高校）、小川美優さん（洛北高校）、堀内萌衣さん（同志社高校）】



#### 〔コーディネーター〕

宇佐美 誠 氏

【京都大学大学院 地球環境学堂 教授】

※なお、「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式、京都環境文化学術フォーラム国際シンポジウムの詳細につきましては、HP上で当日の動画を公開しておりますので、そちらをご覧ください。